

今回は曇ときどき晴れ！



前日、雨模様だったので、心配しましたが、今回は曇ときどき晴れの観察日和。18名参加で実施しました。

花が見れた



ヤマタツナミソウ(山立浪草)



シキンカラマツ(紫錦唐松)



ベニバナイチヤクソウ



ツルアジサイ(蔓紫陽花)



キラソウ(金瘡小草)



オコトラノオ(丘虎尾)



ハハコグサ(母子草)



オニルリソウ(鬼瑠璃草) ↑

写真:今村

その他、ムラサキシキブ(紫式部)

これも黄色いソックスを履いてる！



フタコブルリハナカミキリ



アゲハモドキ(蛾)



クスサン  
南コースで雨のように降ってきた。

池トイレでアカスジギンカメムシが大発生。その度、25日のトイレ掃除時にはいなくなっていたそうです。

頂上広場で ホオジロ 写真:井村



この鳥の巣は？

写真:今村



野澤さんに見ていただいた結果、メジロの巣だろうとのこと。

観察した蝶 (馬場)

- ・モンキチョウ♂♀(頂上広場)
- ・ギンボシヒョウモン♂(頂上広場)
- ・ミドリヒョウモン♂
- ・イチモンジチョウ
- ・コムシジ
- ・ヤマキマダラヒカゲ(サト・ヤマの判別は不明)
- ・スジグロチャバネセセリ♂

これは何？ その後 (井村)



ミドリヒメザゼンソウ  
その後

16日、根元にあった蕾を確認に行ったところ、跡形もなく、イノシシに掘り返されていました。

野澤先生に伺ったところ、青少年の森のヒメザゼンソウも緑だそうです。そして毒があるからイノシシは大丈夫だろうかと心配されていましたが…。

この葉は？ 発見者:馬場



？エイザンスミレ(観山堇)

エイザンスミレなら、市民の森の観察リストにまだ掲載されていない初物。来春、花に注目。

この葉は？ 発見者:？



マツブサ(松房)では？

マツブサなら、市民の森の観察リストにまだ掲載されていない初物。実を確認したいので、だれか場所を覚えていませんか？

この葉は？ 発見者:井村



キレハノブドウ

(切葉野葡萄)  
市民の森の観察リストにまだ掲載されていない初物。この秋、実を確認します。

オオムラサキ物語 続編 (井村)

今回は、36個の目で探しましたが、サナギも、成虫も見つけることができませんでした。残念！  
次のチャンスは、エゾエノキに卵を産みにくるところ。

ホトギス(コリ科)かラン科か？(育林祭の場所前)  
(伊藤)子房が花の外にあるからラン科の植物のはず。

→花を確認したところ、  
確かにラン科 エゾスズランでした。(井村)



7.10



7.23

7月の月例観察会のその後

エゾスズラン 7.23  
ダイコンソウ 7.23  
イケマ 7.23

クサギ 8.15  
タマアジサイ 8.15  
キツネノカミソリ 8.15(21日までもたないかも)



ニワウルシの説明の訂正 (矢崎)

前回観察会時、ニワウルシの説明がハリギリの内容になっていましたこと、お詫び・訂正いたします。



ニワウルシ(庭漆)

「ガイドブックP.128 参照」  
<補足>  
ニワウルシの別名はシンジュ(神樹)。これは、英名・Tree of Heavenの直訳。  
葉は「えり蚕」(シンジュ蚕という山繭のことか)の食樹。

ハリギリ(針桐) ウコギ科 別名・セン(栓)、センノキ(栓の木)

冷涼な山地や里山林に点在する。  
葉は5~9裂し20~30cmと大きい。樹皮は縦に深く裂けクヌギに似る。枝や若い幹にはとげがある。  
若芽は山菜として、材は軽くて白く、控え目な木目が美しいので、箆笥等の家具、お盆や菓子器等あらゆる木工品に使用される。



市民の森では、葉は見つけていますが、まだ木の位置は確認できていません。

その後の昆虫？ 7.28



クサカゲロウ？



スカシサン？